

# 生き生きと働ける場所「八代港」

# ～世界とつながる八代港～

八代港は社会の変化に対応しながら南九州の主要産業を支え、県下最大の貿易港として発展してきました。近年においても、コンテナヤードの移設・拡張、くまモンポート八代の整備など成長を続けており、今後はTSMCの本県への進出を契機とした輸出入貨物の増加など、熊本県はもとより、広く南九州一帯と世界をつなぐ国際物流の橋渡しとして発展を続けています。

今回は、発展著しい「八代港」にある企業、八代港の魅力を紹介します。



## 八代港湾労働者福祉センター



令和5年3月に建て替えが行われた港湾労働者の福利厚生施設。施設内にはシャワー室や乾燥室が設けられ、労働環境の改善に大きく寄与することが期待されます。

## CFS倉庫



農林水産物・食品の輸出促進を目的として令和4年7月から供用開始。定温管理が必要な小口混載貨物の集荷促進が期待されます。

## ヤマハ熊本プロダクツ(株)

中・小型馬力帯の船外機の設計、製造を行っています。製品は、レジャー、漁業、水上交通など幅広い用途で世界180の国と地域で使われています。



製造技術課 山下 拓也 さん

金属部品の加工工程の工程設計や改善、設備のプログラミングなどを担当しています。出来上がった部品が船外機として形になり、海や川で活躍している場面を見ると、やりがいと、ものづくりの楽しさを感じます。

## 高原木材(株)

土木・建築用木材の製造・販売。公園の遊具なども手がけています。また、木材を使った住宅地盤補強工事や木毛や木雑貨などの販売も進めています。



業務部 久保 英明 さん

人事などを担当しています。「木」とは、ぬくもりとやさしさのある素材で、あらゆる形に加工可能であり、無限の可能性を秘めています。その特徴を生かした商品を皆様へお届けできるこの仕事に魅力を感じています。

## パシフィックグリーンセンター(株)八代支店

家畜飼料となる穀物は世界中から船で輸入されます。その穀物を船から荷揚げ、サイロでの保管、飼料工場へ出荷を行い「日本の食生活を支える」仕事をしています。



施設課 上田 剛士 さん

主に電気設備の保守や電気技術系の修理業務を行っています。とても働きやすい職場で安心・安全を第一に皆様の食生活を支えていることに誇りと使命感を持ち明るく楽しく取り組んでいます。

## 大東商事(株) 八代リサイクルセンター

産業廃棄物の収集、運搬、処分をおこなっています。「NOと言わない大東商事」をスローガンに、次世代に豊かな未来を残すためにリサイクル率100%を目指しています。



工場長 工藤 淳一 さん

荷下りし待機の時間短縮、接客、お客様に喜ばれる対応をしていきたいと思っています。「また来たい」と思ってもらえる処分場を作るため、従業員の教育、スキルアップに取り組んでいます。

## 横場工業(株)

金属加工製品の製造、工場のラインなどの自動機器を企画設計・製作・現場据付に加え電気制御・試運転調整までの一貫した工事、メンテナンスなどを行っています。



資材課 松永 一喜 さん

材料などの購入を担当しています。材料が無ければみんなの仕事が始まらない。使命感を持って業務に取り組んでいます。製品が全国各地に出荷される時に、モノづくりに関わっていることを実感し、やりがいを感じます。

## 熊本ドック(株)

海上輸送を支える船、主にクレーンを搭載する作業船を建造しています。現在はカーボンニュートラルに向けての洋上風力発電支援船を建造しています。



新造船部 永山 裕子 さん

この仕事は、色々な道具に出会ってDIY好きには面白い仕事です。船の形ができてくると改めて人って凄いなと感じます。なかでも船が初めて海へ進んでいく様子は壮観で、鳥肌が立ってしまうほどです。

## メルシャン(株)アルコールタンク



アルコール貯蔵用として約5,000キロリットルの大型タンクを建設中。船舶の大型化への対応及び原料の輸送コスト削減等を目的として建設が進められています。

## (同)くまもと森林発電

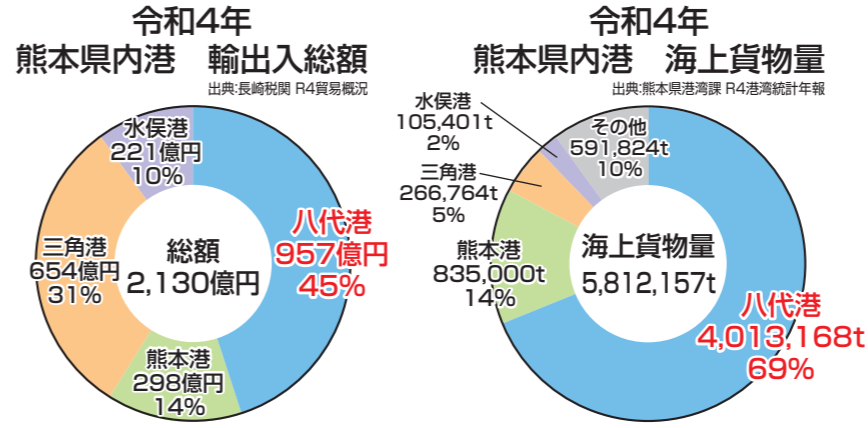


発電出力が国内最大級となる75メガワットの木質バイオマス発電所。令和6年6月の操業開始に向けた工場建設が進められています。

航空写真 2021.4.6撮影

# 八代港ってどんなところ？

皆さんは八代港についてどんなイメージを持っていますか？  
 実は八代港の歴史は古く、豊臣秀吉の時代から球磨川の河口港として発展してきました。  
 今では、約2000の事業所があり50000人を超える人が働き、熊本県の物流拠点として重要な役割を果たしています。



平成11年に韓国との間に県内初の国際コンテナ定期航路が開設されて以来、現在は韓国航路週2便、台湾航路週1便が就航しており、世界とつながる国際貿易港として発展を続けています。

輸出入品目ベスト5 (2022年)		輸出入相手地域(国)ベスト5 (2022年)	
輸出	輸入	輸出	輸入
1位 一般機械 45億5761万円 (26.0%)	穀物及び同調製品 287億7423万円 (36.8%)	1位 大韓民国 59億5718万円 (34.0%)	オーストラリア 180億0470万円 (23.0%)
2位 木材及びコルク 30億2124万円 (17.2%)	元素及び化合物 89億5342万円 (11.5%)	2位 中華人民共和国 45億2263万円 (25.8%)	アメリカ合衆国 162億5908万円 (20.8%)
3位 鉄鋼 30億1702万円 (17.2%)	石炭、コークス、練炭 88億6342万円 (11.3%)	3位 インドネシア 17億6104万円 (10.0%)	ブラジル 149億6008万円 (19.1%)
4位 その他の化学製品 27億8261万円 (15.9%)	木製品及びコルク製品 85億8333万円 (11.0%)	4位 マレーシア 16億0780万円 (9.2%)	中華人民共和国 112億5108万円 (14.4%)
5位 金属鉱及びくず 17億2003万円 (9.8%)	非鉄金属 54億5129万円 (7.0%)	5位 台湾 14億4238万円 (8.2%)	南アフリカ共和国 38億9445万円 (5.0%)

税関別概況品別別表 出典:財務省貿易統計 税関別概況別総額表

## 港湾荷役現場に新しい風を吹き込む

八代港コンテナターミナルで、維持、管理、運営からPR業務など幅広い業務の管理責任者である野田さん。持ち前のやる気と国内では女性で初めて港湾荷役の花形といわれるガントリークレーンの運転資格、ストラドルキャリアの運転資格を取得しました。女性が少ない業界で事務の経験しかありませんでしたが、所長に抜擢され、現場で働く社員の仕事を理解し、信用してもらいたい、支えたいとの一心で、子育てをしながら、この資格を取得しました。資格を取得したからこそ本当の意味で、社員の意見を理解し、気持ちに寄り添い、どうやったら働きやすい職場になるのか見えた気がします。技術さえ身につければ、女性も十分活躍できる業界だと思っています。



松木運輸株式会社 港湾事業本部  
 八代港コンテナターミナル  
 所長 野田 貴美子 さん



ガントリークレーンの前に立つ野田所長

今後の目標は、「これからもこのような活動を続けたい」と話しています。7月27日に開催された「みなのおしごと見学会」でも、参加した親子などに、目の前でガントリークレーンを動かし、そのダイナミックさや、リーファーコンテナ(冷凍コンテナ)のマイナス20度の世界を体験してもらいました。

手不足の解消につながる取り組みとして、実際にこの仕事を見て、楽しさや魅力を感じてもらおうと体験型の見学会などの受け入れです。自分が好きなこの仕事を知ってもらい、選んでもらうために、「見て、触れて、感じる」ことができる「港づくり」をテーマに、平成28年から1000人以上を受け入れています。

## 台湾がぐっと身近に



台湾航路などで本市をPRするラッピングコンテナ

令和5年8月下旬から、八代港と台湾を結ぶ国際コンテナ定期航路が改編され、台湾からの輸入が約10日から4日に短縮され、八代港の利便性が大きく向上しました。

また令和2年には、クルーズ専用岸壁が完成し、大型クルーズ船の受け入れが可能となったことで、人流の拠点としても発展を続けており、この春からは多くの旅行者によるにぎわいも見え始めています。

## みなのおしごと見学会

将来の担い手となる小学生やその保護者に、八代港の役割や重要性、港湾関連企業の魅力を知ってもらうことを目的に行われました。



みなのおしごと見学会でリーファーコンテナの中で参加者に説明をする野田所長

お母さんから見学会に誘われ参加しました。思い出は、リーファーコンテナの中が涼しかったことです。色々な体験ができて良かったです。

友達の陽菜子ちゃんに誘われ参加しました。輸入する荷物の99%が船で運ばれていることなど初めて知ったことがたくさんありました。



(右)遠山 絹代 さん  
 (中)山内 陽菜子 さん(太田郷小4年)  
 (左)岡田 彩未 さん(太田郷小4年)



学校から配布されたプリントの写真を見て、興味を持ち参加しました。1番面白かったことは、マイナス20度が体験できるリーファーコンテナで、とても楽しい経験が出来ました。

お父さんがガントリークレーンの運転手で、お父さんが運転しているところがみたいと思い参加しました。ガントリークレーンの動きが凄くて、それを操るお父さんはベテランの運転士だと思いました。

上村 陽子 さん  
 上村 晃生 さん(松高小4年)



宮本 尚美 さん  
 宮本 琉成 さん(代陽小4年)

# 八代港の将来ビジョン

## ～八代港はどんな港になるの～

これまでの八代港の歩みに加え、脱炭素の加速やデジタル技術の革新など、急激な社会変化が想定される将来においても、八代港が産業活動や市民生活にとって必要不可欠な役割を果たすことができるよう、令和5年3月に八代港の将来像を設定し、その実現に向けた取り組み方針「八代港を核とする将来的な成長ビジョン」を策定しました。

八代港と周辺地区を利活用し、地域産業の競争力強化と地域経済の発展を目指します。



### 物流

南九州の物流のゲートウェイとして、一次産品、工業製品などの移出入の窓口となる港

### 人流

くまモンポート八代を中心として、八代市内外への周遊や消費の活性化が起きる港

### 防災

市民生活や産業活動を災害から守り、速やかな復興に寄与するための港湾機能が整っている港

### 産業集積

企業ニーズに応え、持続的発展に向けた土地有効活用が実現した港

### 担い手確保

ダイバーシティや女性の活躍が浸透し、誰もが働きたいと思える港

### デジタル技術の活用

デジタル技術の発達など、今後の急激な社会経済環境の変化に柔軟に対応し、持続的に発展する港

### カーボンニュートラル

カーボンニュートラルな社会における産業や生活の基盤となる水素などの脱炭素燃料の受入が推進される港

# くまモンポート八代イベント情報



## 第33回 みなと八代フェスティバル 2023



◆日時 10月29日(日) 9:00～16:00

◆場所 くまモンポート八代 (八代市新港町1丁目25)

- ◎海上保安庁巡視船、海上自衛隊護衛艦の寄港
- ◎港湾荷役車両等の展示
- ◎八代・県南物産品の販売

※イベントは、天候などの事情により一部変更する可能性があります。



《問合せ》みなと八代フェスティバル実行委員会事務局（観光・クルーズ振興課内） ☎33-4115

## 大型クルーズ船が 続々入港

国内外から大勢の乗船客が 市内観光を楽しみます。



八代港クルーズ客船寄港予定表

入出港予定	船名	乗客定員(人)	総トン数	全長(m)
9月26日(火) 8:00~16:00	MSC・ベリッシマ	5,686	17.1万t	315
9月28日(木) 7:00~19:30	スペクトラム・オブ・ザ・シーズ	4,246	16.9万t	347
9月29日(金) 7:00~17:00	飛鳥Ⅱ	872	5万t	240.9
10月3日(火) 12:00~20:00	メディタラニア	2,680	8.5万t	262.7

※入出港予定は、天候、運行スケジュールなどの事情により、変更となることがあります。詳しくはくまモンポート八代ホームページを確認ください。  
 ※寄港日の一般見学者のくまモンポートへの入場については、直近の市ホームページを確認ください。  
 (9月28日は、一般見学者の入場が制限される可能性があります。) 《問合せ》観光・クルーズ振興課 ☎33-4115